

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2024年11月8日(金)

NO. 1527号

本号3頁

総がかり行動実行委員会 11・3 国会大行動に2300人

一つひとつ取り組みを成功させ、改憲勢力を跳ね返そう!

「改憲反対」「みんなの力で政治を変えよう」—憲法公布から78年の11月3日、総がかり行動実行委員会と全国市民アクションは「憲法変えさせない!戦争反対!今こそ平和と人権11.3国会大行動」を行い、2300人が参加しました。社民党の福島瑞穂参議院議員、日本共産党の小池晃参議院議員、立憲民主党の有田芳生衆議院議員があいさつ。韓国とミャンマーからのメッセージが紹介されました。

総がかり行動実行委員会の染裕之共同代表が主催者あいさつ。「衆院選で与党を過半数割れに追い込み、改憲勢力が3分の2を下回った。しかし石破首相は選挙後も改憲に向けた発言をしており警戒が必要。特別国会、臨時国会での立憲野党のみなさんの奮闘をお願いし、私たちもしっかり立憲野党のみなさんを支えていこう」と呼びかけました。

京都大学教授の高山佳奈子さんがスピーチ。「北朝鮮兵士がウクライナの戦場に送られたニュースに対しインターネットで『自分が日本に生まれたのは運がよかった』とコメントをしている人がいた。日本でこのように暮らせるのは憲法のおかげ。国際法の秩序の中で被爆国・日本に課せられて使命は、核軍縮と軍縮のための役割を果たすこと」と強調しました。



市民からのスピーチで護憲原水禁千葉県実行委員会の武藤美好さんは、「2020~25年までの期限でオスプレイが木更津駐屯地に暫定配備され、期限を防衛省に守らせ、頻発する事故の原因を究明するよう求めている。オスプレイは南西諸島の軍事基地化で水陸機動団の輸送に使う目的で導入された戦争準備のためのもの。オスプレイ配備反対の運動を強めていこう」と呼びかけました。

ヨコスカ平和船団の新倉裕史さんは、「自衛隊が400発導入を決めたトマホークへの警戒心が薄いように感じる。『飛行速度が遅い』『ステルス性がない』と指摘されているが、米軍は18の軍事作戦で2200発以上も発射している。横須賀には11隻のイージス艦が配備されトマホークが搭載されている。トマホークが時代遅れなら横須賀に配備されるはずがない」と指摘しました。

憲法共同センターの木下興さんが行動提起。「改憲勢力を3分の2割れに追いこんだが巻き返しがあるだろう。取り組みを一つひとつ成功させ改憲勢力を跳ね返そう」と呼びかけました。

ウクライナ軍と交戦した北朝鮮兵、「相当な数」戦死

…クルスク州には最大1.5万人を展開か

ウクライナのゼレンスキー大統領は5日のビデオ演説で、ウクライナを侵略するロシアに派遣された北朝鮮兵とウクライナ軍が初めて交戦したと明らかにし、「不安定化する世界の新たな一ページを開いた」と強調しました。北朝鮮兵が本格的に参戦し、戦闘がさらに激化する可能性があります。ゼレンスキー氏は「世界と力を合わせ、戦争拡大を狙うロシアと北朝鮮の試みを失敗させるため、あらゆることをする必要はある」と支援強化を訴えました。

ウクライナのルステム・ウメロフ国防相によると、戦闘はウクライナ軍が越境攻撃を続ける露西部クルスク州で行われました。具体的な日時は不明です。

米紙ニューヨーク・タイムズは5日、ウクライナ軍が越境作戦を展開するロシア南西部クルスク州で、同軍と北朝鮮兵が初めて衝突したと報じました。米国とウクライナの高官1人ずつの話だとし、米高官が「かなりの数の北朝鮮兵が死亡した」と語ったとしています。交戦は限定的な規模で、ウクライナ側戦線の弱点を探る目的だった可能性があるとして、今後、さらに多くの北朝鮮兵が戦闘に加

わる見通しだとしています。ウメロフ氏によると、最大で1万5000人規模の北朝鮮兵がクルスク州に展開する可能性があるとしています。

ロシアは現在も北朝鮮兵の受け入れを公式には認めていません。タス通信によると、ドミトリー・ペスコフ大統領報道官は5日、「(これまでの説明に)付け加えることは何もない」と記者団に述べました。

2022年2月に始まったロシアによるウクライナへの全面侵攻で、両国以外の国の兵士が前線に展開して本格的な戦闘行為に投入されたことが確認されれば、初めての事態となります。戦争は新たな局面に入ることになり、米欧の対応が焦点となります。

ゼレンスキー氏は演説で、北朝鮮兵がロシアに派遣されたことに触れ、ウクライナの防衛のために軍事面などの支援をしてきた米欧諸国に謝意を示しました。また、「テロは十分な対策がなければ、ウイルスのように広がる」と強調しました。

ロシア派遣 北朝鮮兵の新たな動画 ウクライナ軍と初衝突か

ウクライナメディアは、ロシアに派遣されている北朝鮮兵士の新たな動画を公開しました。ウクライナメディアは6日、「クルスク州で北朝鮮兵士を撮影したとされる動画がインターネットで公開された」として、映像を公開しました。

動画は森の中で撮影されていて、ロシア兵がロシア語を教える様子や、北朝鮮の兵士が手にした紙を見ながら会話する姿が収められています。

具体的な撮影場所や、日時は明らかにされていません。

交戦は限定的で、北朝鮮兵士はロシア軍の部隊とともに戦闘に参加したということです。

韓国のKBSテレビ 北朝鮮兵とウクライナ軍の間で初の交戦があったと報じる

韓国のKBSテレビは5日、ウクライナのウメロウ国防相とのインタビューで、ロシアに派遣されている北朝鮮兵とウクライナ軍の間で初の交戦があったことをウメロウ氏が確認したと報じました。しかし、すべての兵力が動員された体系的な水準の交戦ではなく、小規模なものだったとのこと。

北朝鮮兵は、ロシアのモンゴル系少数民族のブリヤート人に偽装してロシア軍に交じっているとい、交戦がいつ、どこで起きたかについては言及がありませんでした。

ウメロウ氏は「数週間後にはより多くの交戦があるとみており、それに応じて分析と検討を進める」と述べ、最大で1万5千人の北朝鮮兵が配置される可能性があるとの見方も示しました。

一方、米国防総省のライダー報道官は4日の記者会見で、ウクライナとの戦闘にすでに参加したと示唆する報道について「現時点では裏付けられない」と述べています。

ライダー氏は、ロシア国内にいる北朝鮮兵は1万1千~1万2千人程度で、このうち少なくとも1万人がロシア南西部クルスク州にいるとの見方を明らかにしましたが、戦闘への参加については認定しなかったとのこと。

マイナ保険証利用率 14%弱 「一本化」目前でもトラブルやまず

政府は、12月2日に現行の健康保険証の新規発行を停止し、保険証機能をマイナンバーカードに持たせる「マイナ保険証」に一本化する方針です。準備段階では自治体や医療機関で事務的な問題が続発し、国民に移行への抵抗感が残ります。

◆石破首相は「先送り検討」から一転、自民は「推進」

石破茂首相は自民党総裁選を控えた9月の時点で、健康保険証の廃止時期の先送り検討も必要との考えを示していましたが、首相就任後は主張を一変。今月7日の衆院代表質問では、マイナ保険証への一本化を「法に定められたスケジュールで進める」と明言しました。

平将明デジタル相は記者会見で「急激な人口減少で加速度的に人手不足が進行する中、皆さんが満足できる社会保障のサービスを行うために不可欠」と指摘。マイナ保険証への一本化のメリットを強調します。

◆「現状で健康保険証廃止はあまりにも拙速」…現状は

マイナンバーカード保有者のうち、8月末で約80%がマイナ保険証に登録しています。ただし、病院や薬局で利用している人は9月時点で13.87%にとどまっています。

東京新聞など全国18の地方紙が8月に実施したアンケートでは、回答のあった1万2007人のうち、現行の保険証を残してほしいという意見が80%を占めました。「紛失時のリスクや手続きが心配」「災害時や停電など、使えないときはどうするのか」といった不安や疑問の声が多く寄せられました。

マイナ保険証を使ったトラブルも後を絶ちません。全国保険医団体連合会の調査では、5月以降も70%の医療機関で、カードリーダーの不具合などのトラブルを経験していました。

東京都練馬区のITエンジニア、堀田聡美さん（54）は「さまざまな情報がひも付けられるリスクがあるのに、政府は国民が安心できるような制度設計をしていない」と指摘。健康保険証の廃止に関しては「あまりにも拙速だ。トラブルがあった場合に誰が責任を取るのかも分からず、今も不安に感じる。投票する際には、マイナ保険証に対する各党の主張も判断材料の一つにしたい」と話しています。

後任の法相予定の麻生派の鈴木馨祐氏は裏金議員 許されないと共産党小池氏

日本共産党の小池晃書記局長は5日に国会内で開いた会見で、石破茂首相が先の衆院選で落選した閣僚2人に対する後任選びについて言及しました。

石破首相は来週11日に招集される見通しの特別国会で、首班指名選挙で首相に選出された場合、落選して議席を失った牧原秀樹法相、小里泰弘農水相を交代させ、第2次石破内閣を発足させたい意向です。

現時点で牧原氏の後任の法相には、自民党・志公会（麻生派）の鈴木馨祐氏、小里氏の後任には同党・江藤拓氏をそれぞれ起用する方向で調整が進められています。

小池氏は石破首相の閣僚人事プランに「ちょっと閣僚を入れ替えて済まそうという態度は、極めて安易なやり方だと言わざるを得ない」と批判した上で「ポスト法相、の鈴木氏に関してこう語りました。

「人物的に言うと、鈴木馨祐氏ですね。この人を法務大臣にすることを言うと、裏金を指摘された人物です。『しんぶん赤旗』日曜版の5月26日付で裏金疑惑が指摘されました。5月24日の衆院予算委員会で（共産党の）塩川鉄也氏が裏金の指摘を行いました。合計で282万円。これは『訂正しました』ということで開き直ったわけです。やっぱり、明確に裏金議員だった人物をこともあろうに法務大臣にすえる、これは許されないだろうという点です」

鈴木氏が石破内閣の新しい閣僚としてふさわしくない理由はなにか。

小池氏は「自民党政治規制法改正案の提出者。今回の自民党の規制案は『“ザル法、だ』という指摘が相次いでいる。自民党の当選者の中でも『不十分だ』という方が多数います。“ザルも呆れるザル法、を作った人物を法務大臣にする、しかも裏金が指摘されている。『石破さん、どういう基準で閣僚にしようとしているのか』と問われると思うし、国会が始まれば当然、追及しなければいけないと思います」と語りました。

改憲派「3分の2」切る! 現状での発議は不可能に

再掲

今回の総選挙の結果、衆院での改憲派政党＝自民党、公明党、日本維新の会、国民民主党、参政党、日本保守党の獲得議席は合計287で、改憲発議に必要な総議員数の3分の2（310議席）を下回りました。一方、日本共産党と立憲民主党、れいわ新選組、社民党を合わせた議席は166で、総議員数465の3分の1を上回りました。

改憲発議に必要な総議員数の3分の2（310議席）を下回ったのは、2009年第45回平成21年8月30日に、民主が308議席を獲得し、政権交代し連立政権発足した時でした。

当初、「選挙の顔」として期待された麻生首相は、内閣支持率の低迷が続き、事実上の任期満了の解散・総選挙となりました。結果は、民主党が1つの政党が獲得した議席としては戦後最多となる308議席を獲得して大勝。自民党と公明党は大敗し、政権交代が実現しました。選挙後、民主党の鳩山代表が総理大臣に選出され、民主・社民・国民新党による非自民の連立政権が発足しました。

それ以来、15年ぶりの大成果です。

参院では改憲派政党の議席が総議員数（248）の3分の2を上回っていますが、改憲発議には衆参両院での3分の2以上の賛成が必要です。衆院では無所属の改憲派議員を含めても総議員数の3分の2を下回ることから、現状での改憲発議は不可能となりました。

来る参院選でも、参院での改憲派を3分の2以下に追い込みましょう。